



ウィルでは、お子さまに合わせた個別療育を行っています。一人ひとり、課題も興味も異なる子どもたち。「得意」を活かせる環境づくりに、私たちも試行錯誤の毎日です。当月号ではそんなウィルの中身を、少しだけ紹介します！

身辺自立

「できない」ことより「できる！」ほうが、誰だって気持ちが良いですね。それは子どもたちも同じです。支援グッズや様々な工夫を用いて、自信と達成感を持てるようにしています。



手順書を見て
ひとりで
はみがき！

好きなものは
やる気が違う！



自立課題

お子さまの興味や関心に合わせた、自立課題にも取り組みます。課題の始まりから終わりを理解して、一人で達成できる設定の課題を、個別に設定します。分かる！出来る！が、「もっとやってみたい！」の気持ちを育てます。

余暇エリア

ウィルには、色々な余暇エリアがあります。粗大運動のトランポリンエリア、ピタゴラススイッチのようなこころエリア、スヌーズレンのぶくぶくエリア。また玩具やDVDなどを使用して、要求やお片付けの練習をしたりもします。活動の終わりができない・切り替えられない、などの難しさにも、「なぜイヤなのか？」の原因からアプローチした支援をしています。

少しの工夫で、とっても
上手にお片付け♪



買い物

クッキング

順番交代で
ゲーム

他にもこんなこと！

クッキングやお買い物など、将来の生活に向けた取り組みをされる方もいます。大切に育てた自信や達成感があれば、子どもたちは様々なことに挑戦してくれます。「一人でできるぞ！」「大丈夫！」の気持ちを胸に、めざせ“地域に生きる”！



編集後記

これからもウィル新聞では、支援に役立つ具体的な情報を沢山発信していきます！次回をお楽しみに！！（小谷）